

まこと通信

福岡県議会議員



6月定例会
一般質問

農業者の所得向上につながる 新たな事業・計画の実施を



6月議会の一般質問では、田川地域でも重要な産業である農業の振興を中心に知事に質問しました。

まず、新規就農者を増やす取り組みについて質問しました。

福岡県は、ここ数十年一貫して農業従事者は減少しており、特に65歳未満の自営農業者（主業農家）や、1,000万円を超える販売額を有する農家の数の減少は、農業振興に大きな影を落としています。

こういった状況から県も新規就農者の増加を目標に掲げており、県が制定した「福岡県人口ビジョン・地方創生総合戦略」では、新規就農者数を毎年220人増やすとしています。

しかし、この数字を見ると今後も農家戸数は確実に減少すると考えられます。このことを知事に質問すると、就業セミナーなど様々な取り組みを行うことを言及しつつ「一人でも多く新規就業者の確保に努めてまいる」との答弁がありました。ただ「一人でも多く」というのはもはや計画ではないので、新規就農者目標が福岡県の農業を支えられるものなのか、という視点で計画をつくってほしい、と要望しました。

農林水産物の輸出促進については、県も「九州農産物通商」という会社を農協と共に立ち上げています。今後も欧州や東南アジアなどに販路を拡大するとしていますが、九州農産物通商は販売額もまだまだ十分でない上にホームページも非常に内容の薄いものであり、その改善も要望しました。

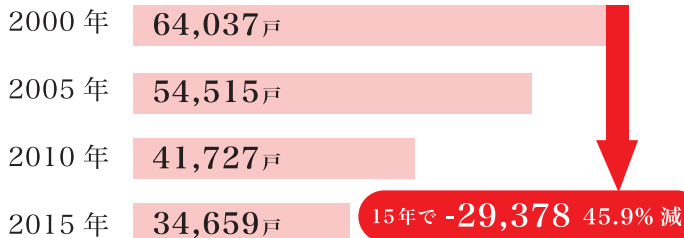
農林水産物のブランド化については、現在6品目が認定されていますが、今後7品目を目標にブランド化を進めることが明らかとなりました（別表参照）。ぜひ早期にブランド化を進めてほしいと要望しました。

農林水産業の新規就業で最も大切なのは、この仕事で自分は食べていけるのか、家族を支えることができるのか、という視点、まさに所得の確保と向上です。この件に関して知事はどのように考えているのかを尋ねると「生産者の所得の確保・向上が図られるよう、さらなる競争力強化、収益力向上に取り組む」と回答しました。

私からは、今後の計画の中で、園芸や畜産など業種毎の所得目標、農林水産業の新規参入目標等の設定といった、これまでにないきめ細かな目標設定もぜひ取り入れた計画・目標の設定を強く要望しました。

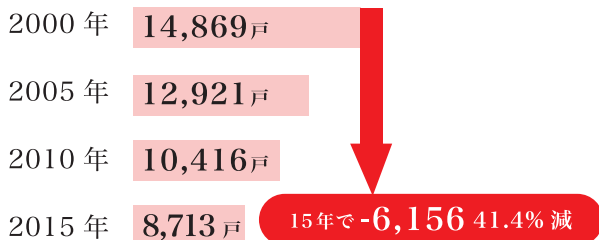
減り続ける農家人口

販売農家数※



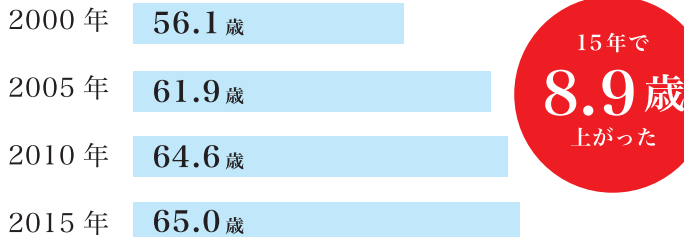
※経営耕地面積30アール以上または農産物販売金額が年間50万円以上の農家

主業農家個数※



※農業所得が主な収入で自営農業に従事している65歳未満の方がいる農家

上がり続ける農業従事者の平均年齢



県がブランド化を予定している農林水産物



博多和牛



博多なす



はかた地どり



元気つくし



福岡のり



北原早生



とよみつひめ

筑豊地域
道路整備

八木山バイパス 2車線化
知事「国に要望していく」

6月議会で知事は、無料化後渋滞が続く八木山バイパスについて、事故防止対策と、4車線化を国土交通省に働きかけることを明言しました。

これは私の所属する会派の代表質問での答弁で、交通量は1日当たり2万5千台で無料化前の2倍となっています。それに伴い事故発生件数も無料化後大幅に増えていることが報告されました。

道路を管理する国土交通省では、現在進めている飯塚庄内田川バイパスの完成後検討するとのことでした。

田川地域から福岡地域に向かう重要な幹線道路であり、大渋滞によって多くの方から早急な対策を求める声を頂いています。渋滞解消に向けた様々な取り組みをしつかり訴えていきます。



外国人の
人権を守る

ヘイトスピーチは
決して許さない

在日韓国・朝鮮人や中国人などを排斥することを目的に行われている「ヘイトスピーチ」。福岡県でも数年前から行われています。

残念ながら、このヘイトスピーチが行われる以前から、在日韓国・朝鮮人に対する差別は根強くあり、その範囲は法律など社会システムや就職や結婚はもちろん、住まいや

地域付き合いなど社会の隅々にいたります。

福岡県議会もヘイトスピーチに対する厳正な対処を意見書として国に求めています。

在日韓国・朝鮮人の方々にしっかり寄り添いつつ、ヘイトスピーチを許さない取り組みの推進に向けてがんばります。



6月19日に福岡市天神で行われた排外主義者による街頭演説

会派
代表質問

正規教員の採用数増へ

正規教員率
87.3% 全国
ワースト2位

私の所属する会派の代表質問では、福岡県の正規教員の採用増を強く訴え、県は、今後正教員の採用増員を明言しました。

福岡県における正規教員の割合は、2015年度現在87.3%で全国ワースト2位と極めて低い状況です。また早期退職者も定年退職者に匹敵する数が続く、今後も大量退職が続きます。

県教育委員会としては、来年度の

採用数を小学校500人、中学校235人とし、5年前に比べ280人増にすること、今後、早期に正規教員の割合が全国下位である状況を改善するために、正規教員の計画的採用に努めることが明言されました。

来年度以降、正規教員率増のために多くの教員採用が予定されます。今後も充実した教員配置や教育予算の増額を訴えていきます。

非正規教員が担任をしている学級数	929 学級 (全体の14.7%)
------------------	----------------------

小・中学校来年度の採用予定数	
小学校	500 人
中学校	235 人
養護・栄養教員	42 人
合計	777 人

データで見る田川市

第13回 田川市郡の人口分布

福岡県が毎年行っている「人口移動調査」での田川地域の人口分布がこのほど発表されました。

ここでは年少人口は同時期の全国平均と全く一緒であるものの、高齢化率は全国平均より7%高い33.6%に上っていることがわかりました。最も高い添田町では高齢化率が4割に迫っています。

一方で年少人口割合を見ると、4市町で全国平均を超えています。年少人口割合の最も多い田川市は出生率がとても高く2014年の合計特殊出生率は全国平均の1.42を大きく超える1.68となっています。

このことから、今後は生産年齢人口の増加をいかに図っていくかがとても重要であり、そのことを基本に置けば、雇用・教育・治安・住環境整備などが求められます。特に田川地域で育った方々のUターンをいかに図るかが私は大切だと思っています。その点について今後も市町村と連携して取り組みます。

■年齢別人口・年齢別割合(平成27年9月1日現在)

市町村	人口(人)				年齢別割合(%)		
	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口
田川市	48,706	6,398	26,681	15,602	13.1	54.8	32.0
香春町	10,759	1,271	5,512	3,997	11.8	51.2	37.2
添田町	9,954	1,062	5,020	3,884	10.7	50.4	39.0
糸田町	9,092	1,172	4,850	3,085	12.9	53.3	33.9
川崎町	16,564	2,149	8,910	5,517	13.0	53.8	33.3
大任町	5,128	648	2,733	1,750	12.6	53.3	34.1
赤村	3,086	372	1,623	1,106	12.1	52.6	35.8
福智町	23,355	3,065	12,697	7,608	13.1	54.4	32.6
田川圏域	126,644	16,137	68,026	42,549	12.7	53.7	33.6
※年少人口は0歳から14歳まで、生産年齢人口は15歳から64歳まで、老年人口は65歳以上をさす					全国平均		
					12.7	60.6	26.7

災害対策

災害に強くなろう 耐震診断をしよう

4月に「熊本・大分地震」が発生し、多くの方がお亡くなりになりました。その多くが建物の下敷きになったための「圧死」でした。

これは家屋の耐震が十分でないことからおきたものですが、特に古い住宅では対策が十分ではありません。福岡県では自宅の耐震状況を検査するアドバイザーを自宅に派遣する制度（1981年5月以前の建物対象）があります。またそこで耐震上問題がある木造家屋に関して、田川市が改修工事費用の一部を補助する制度もあります。

田川地域も近くに「福智山断層」が走っているなど、地震と無縁ではありません。自分の命をしっかりと守るためにも、ぜひ活用してください。



地震によって倒壊した熊本市内の建物

■田川市「木造戸建て住宅耐震改修工事補助金」

対 象 （すべてに該当すること）		補助対象者 （すべてに該当すること）	
1	市内の木造住宅であること	1	田川市住民
2	補助を受ける方が所有し、実際に住んでいること	2	市税を滞納していないこと（同一世帯の方も含む）
3	1981年5月31日以前に建築もしくは建設着工した建物	3	暴力団・暴力団と密接な関係を有していない方（同一世帯の方も含む）
4	耐震診断の結果、上部構造評点が1.0未満であること	補助率・額	
5	この補助金を過去に受けていないこと	耐震工事費用の20%、30万円まで	

その他、詳細は田川市建築住宅課（0947-44-2000）までご相談ください

田川郡のそれぞれの町村にも同様の補助制度があります。詳細は各役場にお尋ねください。

■自宅の耐震診断に アドバイザーを派遣します

建物の壁の位置や屋根などの耐震状況等を調査するアドバイザーを、皆様の自宅に派遣する制度を福岡県が行っています。

35年以上前に建築した自宅を持っている皆さん、熊本・大分地震の教訓からも、耐震診断をぜひ検討してはいかがでしょうか。詳細は以下の通りです。

詳細は（一財）福岡県建築住宅センター（092-781-5169）までご相談ください

制度の対象	福岡県内の原則昭和56年5月以前に建築された木造戸建住宅が対象です。
相談窓口	（一財）福岡県建築住宅センター（生涯あんしん住宅）で受付します。
専門家を派遣	必要に応じて耐震診断アドバイザーを派遣し、現地調査を実施します。
派遣費用	①基本診断⇒3,000円 ②床下小屋裏進入調査付診断⇒6,000円

■今年は「ふっこう割」で九州旅行を 最大7割引の旅行券を発行へ

このたびの熊本・大分地震に対する国の観光支援のための経費として、福岡県も9億2千万円が補正予算として計上し、6月議会で可決しました。

熊本・大分両県ではもちろん、福岡県内の宿泊などでも使える旅行券や旅行商品が随時売り出されます。

詳しくは、旅行会社やHP「九州ふっこう割お知らせサイト」で掲載してます。ぜひ夏の旅行に活用して下さい。

旅行商品の割引上限額一覧（7～9月）

商品単価		割引上限額	
		福岡他5県	熊本・大分
宿泊商品	6,000円～9,999円	3,000円	4,000円
	10,000円～19,999円	5,000円	7,000円
	20,000円～29,999円	10,000円	14,000円
	30,000円以上	15,000円	20,000円
交通＋宿泊	20,000円～29,999円	10,000円	14,000円
	30,000円～49,999円	15,000円	20,000円
	50,000円以上（1泊）	20,000円	20,000円
	50,000円以上（2泊）		30,000円

救急電話 かける前に

「救急医療電話相談」 24時間対応で開始

救急車を呼ぶかどうか迷った場合、医療機関の受信や救急車の利用などについて看護師が24時間対応でアドバイスをするサービスが6月30日から開始されました。

これは救急車の利用のうち多くが「軽症患者」であり、いわゆる「コンビニ受診」が福岡県でも大きな問題となっています。一方で医療知識の乏しい市民にとっては「この症状で救急車を呼ぶべきなのか」と悩む方も多いのが現状です。

救急車が病院かで迷ったら、気軽にお電話ください。

救急車？ 病院？ 迷ったら



福岡県救急電話相談・医療機関案内

お子さんの病気や怪我に関しては

#8000

政務活動報告

6.3 龍谷大学「政策議会研究所」勉強会



議会改革や開かれた議会のあり方などについて定期的に勉強しています。福岡県議会もより開かれたものになるようがんばります。

6.4 田川市区長会総会



地域活動にとって最も重要な役割を担っている区長の皆さんへ、県政での地域活動支援の状況などについて報告しました。

6.5 議員インターンOBG会



私が受け入れた歴代のインターンOBGが集結しました。若者と政治、18歳選挙権など様々な話をし、とても刺激をもらいました。

6.28 参院選街頭演説



緊張感のある国政の実現には、野党勢力がしっかりと力を持つことが必要であると訴えました。

6.4 筑豊自動車運転免許試験場落成式



旧嘉穂中央高校を改築して移転しました。総事業費は約20億円と新築に比べ10億円節約されています。

6.4 弓削田・奈良区県政報告会



地区毎に行われている県政報告会。奈良区でも多くの方に参加いただきました。県政から見た田川の課題などを意見交換しました。

6.28 田川市老人クラブ連合会通常総会



福岡県が行っている健康寿命増進に向けた新たな取り組みなどについて報告。生きがいのある生活をぜひ送っていただきたいです。

7.7 花畑にて



奈良地区で新たに作られた花畑で、お世話をしている皆さんと。緑化推進事業の活用などで、花いっぱい田川市になればと思います。

6月スケジュール

- 1 主要地方道田川直方線延伸整備促進期成会通常総会
陰山メソッド講演会
- 2 福岡県土木組合連合会平成28年度社員総会懇親会（福岡市）
- 3 龍谷大学「政策議会研究所」勉強会（京都市）
- 4 田川市区長会総会 / 筑豊自動車運転免許試験場落成式（飯塚市） / 田川市区長会理事会新旧役員懇親会 / 県政報告会（奈良区）
- 5 議員インターン OBG 会（福岡市）
- 6 県議会会派総会・政策審議会（福岡市）
県議会本会議（福岡市） / 労働政治懇談会（福岡市）
- 7 県議会会派総会・政策審議会（福岡市）
- 8 猪位金「3 社会」懇親会
- 9 福岡県退職教職員協議会田川支部第33回定期総会
県議会会派総会・政策審議会（福岡市）
- 10 県議会本会議（福岡市） / 田川市体育協会懇親会
- 11 福岡県職員労働組合「ひこさん会」懇親会
- 12 弓削田校区活性化協議会「三世代交流地域安全安心街づくり決起大会」
田川商工会議所青年部例会（赤村）
- 13 県議会本会議（福岡市）
- 14 県議会本会議（福岡市）
福岡県産炭地域活性化対策議員連盟総会（福岡市）
- 15 県議会本会議（福岡市）
田川市長と企業誘致関連で陳情行動（福岡市）
- 16 県議会本会議（福岡市）
第16回まつり IN 田川実行委員会
- 17 連合福岡議員懇談会役員会（福岡市）
県議会県土整備委員会（福岡市）
猪位金小学校芸術拠点事業公開プレゼン
- 18 地元市民相談対応
- 19 地元市民相談対応
- 20 原水禁福岡県協議会要請行動（福岡市）
- 21 県議会本会議（福岡市）
- 22 参院選支援行動
- 23 参院選支援行動
- 24 田川農業協同組合第17回通常総代会
筑豊地区中小企業団体連合会第53回通常総会（飯塚市）
参院選支援行動
- 25 福岡県教職員組合田川支部第36回定期総会（香春町）
福岡県トラック協会筑豊支部平成28年度通常総会（別府市）
参院選支援行動
- 26 参院選支援行動
- 27 参院選支援行動
- 28 田川市老人クラブ連合会通常総会 / 参院選支援行動
- 29 県議会会派総会・政策審議会（福岡市）
参院選支援行動
- 30 参院選支援行動

佐々木まこと事務所

所在地

〒826-0023 田川市上本町9-27

tel 0947-85-9015

fax 0947-85-9007



佐々木 まこと

で検索



弁護士による

第12回 無料法律相談開催

7月29日(金) 17:00～

佐々木まこと事務所にて

※ご希望の方は7月25日(月)までに事務所まで

ご予約連絡先 0947-85-9015